

第 24 期営業報告書

1 事業概要

(1) 当期の営業状況

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社の第 24 期営業概況につきまして、ご報告申し上げます。

令和 2 年度の大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、依然と厳しい状況にあり、感染拡大防止と社会経済活動の両立が図られる中、一部の部門で持ち直しの動きも見られますが、社会全体の事態収束には今しばらくの時間が要されるものと考えられます。当社におきましては、社会全体での社会活動の自粛に伴い、厳しい経営を余儀なくされたところです。

当期の営業面におきましては、社会活動の自粛に伴い営業活動が制限され、厳しい状況となる中、経営効率の向上を図り経費削減、業務改善に努めてまいりましたが、厳しい結果となっております。

番組編成面におきましては、緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染症に関する特別番組の実施、緊急事態宣言後の「新しい生活様式」を推進する「八尾を応援する特別番組」の取組を実施してまいりました。又、子供守るリーディングキャンペーンの実施により、局イメージアップに努め、地域との繋がりに強化を努めてまいりました。又、開局以来の課題でありました市域南部及び東南部の難聴区域の解消を図り、より市内での受信エリアの拡大の効果を発揮するための PR 活動を実施して参りました。

以上の結果、当期におきましては、番組・広告収入を中心に売上高は、前年比約 311 万円減の 5,517 万円となりましたが、売上原価の削減及び事務経費の削減等業務改善に努めた結果、当期純利益は、前年比 169 万円減の 95 万円の単年度黒字決算となり、累積欠損金は 940 万円となりました。

新型コロナウイルス感染症による社会活動の自粛に伴う売上高の減少に対し、制作経費の削減及び一般管理の業務改善に努めた結果であり引き続き経営改善に努めてまいりたいと考えております。

尚、経営状況としては、未だ累積赤字の解消に至らない財務状況でありますので、誠に申し訳ありませんが株主配当は、見送らせていただきます。

今後も、経営改善に努め、安定した経営基盤の確立を目指し、組織・体制の改善強化を図るとともに、送信出力の増力により可聴範囲が広がったことを積極的に PR し、新たな CM の獲得など売上増に努めてまいります。

また、「届けます元気と安心、繋げます地域の絆」を活動目標として、行政情報をはじめコミュニティ情報、地域経済産業情報、観光情報など地域に密着した様々な情報の提供を通して、地域住民の皆さんの利便性と安全性の向上、地域経済の活性化あるいは文化の振興に寄与すべく、番組作りに

努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては何卒ご賢察の上、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。